

第2回 高円寺地域における新しい学校づくり懇談会会議録（要旨）

会 議 名	第2回高円寺地域における新しい学校づくり懇談会
日 時	平成26年5月20日（火）午後3時～5時
場 所	杉並第八小学校 図書室
出 席 者	協議会委員28名（欠席1名）
傍 聴 者	4名
次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 新委員自己紹介 2 異動に伴う事務局職員紹介 3 目指す学校像について 4 部会設置事例について 5 （仮称）杉並和泉学園について 6 その他
資 料	<p>資料1 高円寺地域における新しい学校づくり懇談会委員名簿</p> <p>資料2 高円寺地域における新しい学校の目指す学校像について</p> <p>資料3 部会先例集</p>

会長	<p>ただいまより第2回高円寺地域における新しい学校づくり懇談会を始めさせていただきます。</p> <p>私、この4月より高円寺中学校でお世話になっております橋本と申します。よろしく願いいたします。</p> <p>懇談会の運営要綱によりまして、この会議の会長ということで進行させていただくことになっております。皆様方のご協力、よろしくお願い申し上げます。</p> <p>まだお見えになっていない委員の方もいらっしゃいますが始めたいと思います。また、本日、傍聴を希望された方が4名いらしておりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>次に、配付資料についての確認をお願いしたいと思います。事務局から事前に配付されていると思います。資料1から3ですが、いかがですか。ないようでしたら声をかけていただければ事務局がお持ちいたします。</p> <p>それでは、始めたいと思います。まず、資料1をご覧ください。</p> <p>このたび新しい年度を迎えまして、4月1日付の異動がございました。各校とも校長、副校長の異動やPTAの役員方も代わられていることがございますので、新委員から自己紹介をしていただければと思います。</p> <p>（各委員自己紹介）</p>
----	---

	<p>ありがとうございます。それでは、総勢 29 名というメンバーの懇談会でございますが、このまちにある魅力的な学校はいかなる学校なのかというところについて話し合ってもらいますのでよろしく願いいたします。</p> <p>続きまして、事務局にも異動がございましたので、自己紹介をお願いできますでしょうか。</p> <p>(事務局自己紹介)</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、次第の 3 番目でございます。「目指す学校像について」です。</p> <p>今日は委員の皆様方から新しい学校に対する思いを伺えればと思います。具体的にどんな学校をつくりたいかということでもよいかと思います。この高円寺という地域にはどんな学校が望ましいのか、どんな学校が魅力的なのか、目指したい学校像について率直なご意見を頂戴できると幸いです。</p> <p>資料 2 ですが、計画に掲げられている目指す学校像や現在の 3 校、杉四、杉八、高中と 3 つの学校の教育目標、小中一貫教育の取組方針、また、先行事例の天沼小学校や平成 27 年度開校を予定しております杉並和泉学園の基本方針についても載せております。意見の参考にさせていただければと思います。</p> <p>本日のご意見は、設計等の施設面や教育方針等を検討していく上で影響することになります。意見を集約して、次回以降に反映していける形にしていければいいなと考えております。委員の皆様が多々ございます。できましたらお一人 2 ～ 3 分ぐらいでまとめていただけるとありがたいなと思っております。</p> <p>では、途中退席予定の委員からよろしく願いいたします。</p>
委員	<p>今日は予定がいろいろ重なっております、申し訳ありません。言いつ放しで退席することをお許しください。</p> <p>私は高円寺に生まれ育ちまして、もう六十数年経っております。私自身、杉四、高中を卒業した卒業生でございます。今度の新しい学校をつくるに当たっているいと準備が進んでおりますけれども、それに対してすごく熱い思いが実はございます。杉四のほうで子どもたちを集めて、スポーツ少年団としてサッカー、野球を約 30 年、子どもたちを見ております。子どもたちの変化をずっと見てきていますが、第一は勉強だと思っております。やっぱり学力が必要ですし、また、それを支えるスポーツ、運動によって学力も伸びていくと考えています。そのように指導もしてまいりました。</p> <p>もう一つ、大事なものは何かというと、心、優しい心ですね。いわゆる思いやりですかね。そういったものも育ていかなきゃいけない。</p> <p>そして、今日どうしても申し上げたかったのは、リーダーシップ。子どもたちの中には、リーダーシップがとれる子とまだまだだなという子がいっぱいいるわけです。リーダーシップがとれるような子どもたちに育つ授業やその他の内容については先生方にお任せするにしても、我々としてはそういう環境 施設面もあれば、いろんなシステムもあると思います。せっかく新しい学校をつくるのであれば、みんなが高円寺のあの学校へ行きたいなと思えるような学校を考えていきたいなと思っております。</p> <p>物事をいろいろ進めるに当たっては、メリット、デメリットがきっとあると思いますが、デメリットを幾らほじくり返してもいいことは何も出てこないと思います。メリットの部分をどれだけ我々が見出していけるかというのが一番</p>

	<p>かと思えます。</p> <p>やっぱりスポーツは人と人のつながりもどんどんつくってまいります。高円寺地域というものを考えると、その絆で皆さんが結ばれていますので、きっといい学校ができるのではないかなと思って期待して、私は参加させていただいております。</p>
委員	<p>ともかく杉四、杉八と2つの小学校がこれまでつくってきたいいい財産があると思えます。それが何かをはっきりとつかみながら、融合して、さらにその上の子ども像をつくり上げていくべきだと思えます。そのためには、何かを消していくというより、今まで育ったものの良さを我々がどれだけ認識できるかということかと思えます。</p> <p>先ほどリーダーシップというお話がありましたが、杉八は少人数学校ですから、縦割りの中で育てることが大きな目標であり、特にリーダーシップということを達成してきたように思えます。それは大変いいことだと考えています。さらに発展させていくには、子どもの数が増えるわけですから、内容、種目によってリーダーというのは交代で務めていくもので、それぞれの子どもの特性、能力が発揮されていくことが大切です。選ばれた子たちだけが輝き続けていくことのないように、目配りはすべての子どもの様々な特性が生きる集団行動、集団生活が期待されていくように思えます。音楽発表で光る子、体育等で光る子。それから、外へ出ていきまして、絵画などを描いて区や都で賞をもらえるようなすばらしい子がいるかもしれません。</p> <p>そうした小学生が育っていくときに、将来何になりたいかなと思うでしょう。地元には様々な職種の間があるし、経験も様々です。子どもたちには様々な大人の世界に触れるチャンスを生かしてもらって、いろんな職業に目を向ける。何回か試行錯誤しながら、世の中との接点を育てていってもらいたいなど。その結果、これが子どもたちの学習の動機になっていくように思えます。「何とか高校、偏差値幾つ」という基準ではなくて、成し遂げたい生き方をまず軸に持たない限りは、進学なんてしないほうがいいと考えます。子どもたちの生きる力、生きる意欲のもとを小中学校が育てていく。そして、試行錯誤させながら、我々周囲が支えていくという立場を持つのかなと思えます。意図的にそんなことができる子どもたちの相談ルーム、つき合いの場所をどこかで設けられていくといいのかなと感じています。</p>
委員	<p>私は、地域とともに密着型で子どもとお年寄りが挨拶のできるような学校にしてほしいです。勉強は先生方にお任せいたします。これは悪いことだ、これはいいことだ、そのことさえしっかりしていれば、社会に出ても大分違うかと思えます。そういう子どもたちになってほしいと思っております。</p>
委員	<p>私は高円寺中からすぐの杉三地域ですけれども、質問されることがあります。高中が小学校からの一貫教育校になりますけれども、どうすればいいですかと。杉三に行って、高南に行くにはとても遠い。十数分かかるわけですが、高中には2～3分で行ける線路ぎわの人がいます。今年は、南五丁目から杉四に行った子どももいます。どうしてかということ、転校してきたようになると嫌だから最初からその学校に行きますと。</p> <p>あと、問題は通学ですね。高南に行くのも通学が大変で、杉四に行くのも環七を越えなきゃならない。高中はすぐですからね。だから、私は高中を一番推</p>

	<p>薦するんです。あと、学力は本人の努力次第で、これから小学校の上級生になったら一番変わる時期ですけれども、どこの学校へ行っても、いい学校、悪い学校というのはないんです。本人の努力次第だから、頑張っって子どもの好きのところへ行かすようにしたらいいんじゃないですかと、答えておきました。</p>
委員	<p>まず、魅力ある学校というものを考えて私が思ったのは、公立の学校といえども、何かに特化した学校であってほしいなと思いました。せっかく施設一体型の小中一貫教育校をつくるのですから、やはり9年間を見据えて継続できるようにしてほしいと思います。その特化したものが何かと聞かれるとちょっと難しいんですけれども、やはりこの高円寺地域の風土に合ったものや、学力面、体力面、また芸術面、物づくり、創造などを高円寺地域から区や都、それぞれ全国に発信できるようなベースになる何かがある学校であってほしいなと思いました。その中で児童・生徒に生の体験や経験などができて、9年間で考えられる力、心豊かな人間形成や生きる力を自然に身につけられるような、次世代のリーダーシップがとれる子どもたちがこの学校から育ててほしいと考えています。</p> <p>また、新しい学校では、もし大丈夫でしたら適正規模などを緩和してもらえればなと思いました。少人数学級できめ細かな体制で学校を運営してもらって、子どもたちが「学んでこんなに楽しいことだったんだ」と思ってくれるような学校がいいなと思いました。大事に育ててきた子どもたちが社会に出ている経験し、いずれはこの地域に戻ってくるような循環型の地域となる学校が築けたらと思いました。</p>
委員	<p>もうほぼ皆さんと同じですけれども、やっぱり公立校ですので学力向上はきちっと先生方が学校としてやっていかなければいけないというのは十分わかっていらっしゃると思うんですけれども、それプラス体力づくりにも力を入れてもらいたいと思います。体を丈夫にすること、イコール体力、学力も伴っていくものだと思います。</p> <p>次に、今まで前高円寺中校長がおっしゃっていたように、生きる力、いわゆるB学力と言われている部分もぜひ考えていってほしいなと思います。</p> <p>やっぱり地域で子どもたちを育てる。高円寺で育ち、また戻ってきてくれるまちであってほしいなと思います。</p> <p>あと、すべての子どもに一人ひとりそれぞれ特性があると思うんですけれども、その辺を生かせる学校。みんな同じではなくて、それぞれが持っているものを勉強ではちょっとだめだけれども、別のところではすごくいい子だよというところを生かせるような、そんな学校になるといいなと思います。</p>
委員	<p>今日は夢を語っていいと伺っておりますので、ちょっと現実的には無理と思えるようなことかもしれませんが、お許しいただきまして、しゃべらせていただきたいと思います。</p> <p>他の委員がおっしゃっているように、今度の新しい学校は魅力がある学校でないと、なかなか子どもたちも集まってこないだろうし、親たちも行かせたいと思ってくれないのではないかと思います。公立学校ですから、どの学校でも最低限の学力を身につけさせることは当たり前のことであって、それにプラスアルファ、ここで育った子にどんなものを与えてあげられるのかなというところを考えたいと思いました。</p>

	<p>3つほど考えました。1つは、今、区の施設再編がありますけれども、科学館が廃止されるということです。科学館の機能の一部を杉四の学校などを利用して、スーパーサイエンス校的なイメージができないか。新校に通っている小学生、中学生は優先的にというか、そこに理科教育のすばらしい先生たちがいて、そういう先生たちの授業を受けられるような環境が1つ魅力的だなと思いました。また、その場所は、幼児も利用でき、幼児から科学に触れられるような環境にもなれたら良いと思います。</p> <p>それから、やはりこれからは国際化と言われているから、東京都のほうはどうなっているかわからないですが、帰国子女の子たちを特別に見ている公立学校があると思います。たぶんどの学校でも帰国子女たちを受け入れているとは思いますが、そういう感じで、特別に支援できるような、ある意味、特別支援になるかと思うんですけれども、そういう子たちが一緒に学び合う環境にすることで、肌で国際感覚が身につけられる学校も素敵だなと思いました。</p> <p>あと、杉四小、杉八小、高円寺中の教育目標の中に「すすんで体をきたえる子ども」とあります。体を鍛えるということがとても大切だろうなと思っています。他の委員もおっしゃっていたみたいに、やはり体を鍛えることで脳も活性化されて、学力も上がっていくと思うし、そこでチームワークとか、一緒に何かをやること、思いやり、協調性も身につくと思います。</p> <p>ただ、そこに地域を絡めたいと思っています。地域の人たちも一緒にそこにある施設を使って、地域も体力向上ができる。新しい学校は複合的な施設も考えられると思っていますので、地域も一緒に参加できる、スポーツが思いきりできる学校になると良いと思います。</p> <p>そういう中で、将来に希望を持って、自信をつけて前に踏み出していけるような子どもたちに育てたいなと思っています。そして、やがてはまた高円寺に帰ってきて、自分たちの後輩を育てていってくれる、地域を盛り上げていってくれる、そういう子どもたちに育てたいです。夢を語らせていただきました。</p>
委員	<p>皆さんがおっしゃっていたのとほとんど同じ意見です。夢のある学校というか、夢を実現できる学校、夢を実現できる人をつくれる学校になってほしいなと思います。いろんな設備とか、内容、カリキュラムはまたこれから具体的にになっていくとは思いますが、高円寺にしかできないことって絶対あると思います。今、杉四だと子供園との連携協力もやっていますけれども、そういうのも生かした学校づくり。頭と体育、体とハートの徳育というところを教育のベースにして、次の時代をつくる人間をつくれる学校、次の世代の世界を築ける人間をつくれる学校になればいいなと思っています。</p>
委員	<p>目指す学校像といっても、実は今まだびんときません。杉四、杉八、高中で、私はどの学校もよく存じ上げていますが、それは様々非常にすばらしい目標を持って、また、教育活動をやっている学校であり、これら3校が一体になることによってすべてのものが集約されると認識はしております。この前提として、恐らく学校ごとの地域が非常に学校に対して協力的な意欲を持って、また、地域の方が参加して学校を盛り上げていると思っています。ですので、新しい学校に関しては、これら多くの地域が一体化した中で、すべてのいいものを共有しながら一つの学校像をつくっていく。</p> <p>また、地域の住民が学校を核として、学びの場として活用できるような学校</p>

	<p>づくりを目指していきたいと考えております。その中で、こういった懇談会を含め、また地域との懇談等の機会もありますから、その中で官民が協働して1つの教育目標、高円寺の特色ある教育活動を定めた中で、目指す学校像を考えていきたいと考えております。</p>
委員	<p>今まで聞いていますと、皆さんすばらしいことを言って、ああ、いいなと思いつながりながら聞いておりました。私は、乳幼児親子の支援ということの立場でこの会に参加させてもらっています。</p> <p>さっき密着型とおっしゃった方がいらっしゃいましたが、まさにそういった感じで、学校そのものより、お互いに小さい頃から顔を見知っているような、関係が濃い地域になるといいな、そんな中の学校であつたらいいなと思っています。</p>
委員	<p>子供園の立場から言うと、今、杉四小のお兄さん、お姉さんにすごくお世話になっていて、子どもたちも小学生を見てすごくあこがれて、そのままスムーズに小学校に上がっています。保護者の間では、子供園がちょっと取り残されているんじゃないかという不安がすごくあります。同じ建物に入れてもらうのは難しいと思いますが、ぜひ小学校との連携をそのままやめないで、何かつながっていただけたいと思っています。</p>
委員	<p>私もまだビジョンがはっきり見えていないので、どうこう言う立場ではないですが、私は杉三、高中出身です。小学校、中学校時代は勉強しないで、遊んでばかりいた少年だったので、あまりいい思い出はないです。むしろPTA会長をやりましたが、周りが多分「信じられない」と言うと思うんですね。</p> <p>何を言いたいかというと、高円寺に私は戻ってきています。やっぱり住みやすいです。もう20年、30年経っていますけれども、本当にいいまちだなと今思っています。ですから、今回は非常に大きな改革だと思いますが、私自身はあまり心配していません。というのは、本当に地域の皆さんがしっかりしているということです。</p> <p>あと、皆さん言っていましたけれども、学校の教育理念はもちろん教育委員会さんのほうで考えていただいていると思いますし、杉三などを見ると、校長先生を中心に非常によく動いていらっしゃるなという印象です。うちの子も高中を卒業しまして、本当に手厚い学校になったなという印象をすごく持っています。ですから、必ずいい学校ができるなと非常に思っています。ソフト面は先生方の前で私が言うのはおこがましいですし、ハード面をどういう形で進めていきたいかというのをきっちり固めていただきたいと思います。</p> <p>今回の改革について、お母さん方からデメリットをいろいろ聞かされています。例えば性的問題とか、いろんな問題があると思います。そういったデメリットも吸い上げて、どうしたらそういうものが解決できるかなど、よりよい学校づくりをして、それに対して私も一翼を担えれば本当にいいかなと思っています。</p>
委員	<p>学校をデザインするときに、それぞれの学校のいろいろな資源を積み上げて、新しい化学反応を起こして学校をつくるのか、杉並という日本の中で冠たる教育の進んだ区としての学校をつくるのか。例えば杉並区の中で今回新しい学校ができる。学校ができる前の共同体のもので学ぶことはないのかということ掘り起こしながら新しい学校に注入していけば、まさに日本の中で唯一の学校</p>

	<p>ができます。それには条件があります。</p> <p>1つは、教員の研修です。教員の感受性が育たなければ、子どもたち個々のいろんな悩みをキャッチする力がないんです。子どもたちの背景にあるものをとらまえて、すぐそれに反応する能力をつくるには、感受性を豊かにする研修プログラムを学校が持ったほうがいいと思う。そのねらいは指導力じゃない。子どもの一人一人の心だとか体の状態をキャッチする能力を高めるための研修センターみたいなものを学校でつくればいい。これは日本で初めてになります。</p> <p>もう一つは、都会の中で自己完結しないで、農村だとか、そういうものとの連携。いろんなカルチャーとの連携を通しながら、もっと開かれた価値観を融合すると思います。そして、昔の高円寺、つまり明治期以前のもっと古いところからの高円寺も掘り起こしながら、その遺産を引き連れながら不偏化できるものは取り入れると、もっとおもしろくなるかと思っています。</p> <p>最後に、お母さん自身がゆったりした環境の中で、自分を自覚しながら子どもへの接し方を考えられる、そういう場を学校自体が提供する。これも日本で唯一の学校になります。両親がゆったりした中で自分の人間性を開発するようなシステムを含んだ学校づくりは、新しい質的な転換になると思います。それには物すごいお金とリーダーシップが要りますけれども、夢として言わせてもらいます。</p>
<p>学校教育担当 部長</p>	<p>杉並区は、「共に学び共に支え共に創る杉並の教育」という教育ビジョンを持っています。この「共に」の部分で、高円寺らしさを何とか引き出していきたいなと思っています。皆さんの考えていることを何とか行政なりにこなして、それを新しい学校づくりの中に生かしていければなと思っています。</p>
<p>委員</p>	<p>高円寺中学校の教育目標では、「知・徳・体」のほかに、社会とかかわる力を育成しようという目標が入っております。杉八小の前は高円寺中だったので、そういう中で地域にお邪魔して行って、地域の方とともに本当にいろんなことにチャレンジして、卒業生を出させていただきました。</p> <p>今まではそういう視点で中学校3年間をいろいろ見ながら、子どもたちと地域の方と一緒に、高円寺という地域の持っている熱い力を感じながら育てさせていただきました。昨年度、杉八小に行きますと、まさに保護者、地域の方が非常に顔を出していただいて、小と中とこういう部分で何か連携できないかなという考えが起こるようになっていました。</p> <p>他の委員からもありましたように、すごい力を持っている地域なので、これを中学校として今後受けとめなければいけない。この教育力を単なる学校だけで収めるのではなくて、地域等も含めながら、いろんなものを活用していきたいなと思っています。特に中学校は義務教育最後の3年間になります。これから社会に飛び出していく子どもたちに、ほかの地域よりもより身についたものを考えていきたいなと思っています。その中の1つとして、先ほど申し上げました社会にかかわる力の部分の育成が、この高円寺の地域の中ではほかの地区よりも非常に育みやすいのではないかと考えています。</p> <p>そういう中で、子どもたちは自分の力で何かを考え、もちろん勉強のほうも教員が教えるだけではなくて子どもの頃から意欲的に学ぶ。もちろん教員も学ばせていくことが大事だと思いますし、そういう中で子どもたちが自分で考え、判断し、行動していく。そして、その力が自分のためだけじゃなくて、他者に</p>

	<p>力を発揮できるような、そういう教育のできる学校をこの高円寺地域の学校、特に新校で育められればいいかなと今漠然としながら考えております。</p> <p>高円寺中では、就学前の子どもたちもお母様方も一緒に、いろいろと関わっていただいています。義務教育の9年間と申し上げましたけれども、就学前の部分も含めて、学校が1つのツールであって、その中に教員だけではなくて、いろんな方が風通しよく足を運んでいただいて、子どもたち、また親たちもそんなんですけれども、かかわっていける、そのようなオープンな学校を目指していきたいと考えております。</p>
委員	<p>今、いろんなところで小中一貫校の取り組み、渋谷とか、三鷹とか、いろんな事例があります。その地域の特性とか実態がありますが、では、この高円寺というところで、今私たちの目の前には子どもがいます。子どもたちが、卒業するときにどんな力をつけないといけないのか。それも、この高円寺に住んでいる方々はその子どもたちにどういう人間になってほしいのか、どのように豊かなこれからの人生を歩んでほしいとか、自立していくためにどのような力をつけないといけないのかということを皆さんで協議して、子どもの視点に立ってつくっていくことが子どもの幸せにつながっていくのではないかなと思っております。</p> <p>ですので、これから先5年間とその後、今、1年生だとしたら、その子どもたちは6年生になるんですね。今、責任を持って1年生を育てていますが、将来的に10年間という大きな流れの中で見ていかななくてはいけないかなと思っております。</p>
委員	<p>子どもが高円寺中学校に在籍しています。杉四小から高円寺中に参りました。目指す学校像の夢ということですが、今現実に在籍しているので、夢というよりも現実のほうが多々見えてしまってます。まず、杉四から高円寺中に入学する際にも、せっかく高円寺中の近くに住んでいても、ほかのところを選ばれるお子さんがいて、私はすごくそれが不思議でした。私の学区も杉四、高中で特に選んだとかはないんですけれども、なぜわざわざそういうことをするのかなと。</p> <p>それぞれのご家庭の事情もあるとは思いますが、子どもが選んだというよりも、周りの大人、地域でいろいろご支援いただいている方以外の声が子どもたちに届いてしまうようです。ほかの学校を選んだ後、会ったりすると、こういうことを言っちゃいけません、「思っていたことと全然違って、高円寺中に行ってもよかった」と。今さら言うかなと思いますが、そういう状況が子どもの周りに現実にあることがとても残念に思います。なので、地域の子が当たり前地域に学校に行けるようにしたいと、いつもそれを願っているんです。</p> <p>小学校のうちは担任の先生のほか、いろいろ手厚く見ていただいたお子さんでも、中学校に入るともっと手厚い支援が必要になってくるお子さんが出てきます。結局、そういったお子さんが高円寺中に来て通えなくて、ほかの学校に転校せざるを得なくなったり、最初から高円寺中学校には行けないとあきらめたりするような状況があります。新しい学校をつくる際には特別支援学級という形でつくるのかわからないですが、そういったお子さんを持つ親御さんが安心して通わせることができるようにしてほしいと思います。今、杉四に特別支援学級はないですが、杉四で普通に通っていたお子さん、先生方のご尽力があつて通っていたお子さんが高円寺中に通えなくなるのは非常に残念だと聞く</p>

	<p>機会が何回かありましたので、ぜひそのあたりをフォローできる学校をつくってほしいなと思っています。</p> <p>あと、子どもが、高円寺北子供園、杉四小、高円寺中とずっと高円寺でお世話になっているんですけども、高円寺らしさってどういうことなのかなと今でも思っています。高円寺っぽいということは、阿波踊りがあるとか、地域がにぎやかとかいうことはありますが、高円寺らしさってどういうことなのかなというのが、ちょっと理解し切れていません。ただ思うのは、うちの子はそんなに積極的な子でもなく、そういった子でも学校も地域もいろいろなことにチャレンジさせてくださり、いつの間にかリーダーになっていたり、下の子の面倒を見ていたり、中学生になっても小学校に来ていると面倒を見ていたり、そういうのが自然に育まれているので、これが高円寺の力なんだなと最近思うようになってきました。</p>
委員	<p>子どもが全員杉三小と高円寺中なので、先ほど他の委員がおっしゃったように、杉三小学区の子でこの新しい学校に近い子もおります。やはり9年間通した学校であるという特色を持ちながらも、杉並区の公立として杉三小から高円寺中に行きたいという子も受け入れがちゃんとできる学校づくりをしていただきたいと思っております。</p> <p>あと、地域の子どもが全員入れるような学校をお願いしたい。特別支援学級もそうですが、ボーダーラインの子たちも対応ができる形で教室をつくっていただいて、ここの学区の子たち全員がここの学校に入れる形をとればすごくありがたいなと思っています。</p> <p>あと、先ほど部活の話も出ておりました。自分が部活に参加したいと思っているぐらいで、テレビでも地域の人たちが子どもたちの部活に参加したりしているのを拝見しまして、地域で参加できるような部活や他の事で、町会の方たちとの横のつながりをまずはすごく考えていただく。そうすると、おのずとして学校としては成り立っていくと思います。町会の方たちのつながりをサポートして、それを新しい学校づくりに生かして、必ずすごく力になっていただけると思いますので、そこら辺をお願いしたいなと思っております。</p>
委員	<p>まだ一番下の子が小学生なので、夢を語るというよりは現実的なイメージしかないんですけども、上の子たちが杉八小、高南中で育てていただいて、いい子に育ったなと思っています。それはどうしてかと思うと、やっぱり生活の場である学校で安心して生活することができた。いいところ、悪いところ、いろいろあったと思うんですけども、ちゃんと認めていただいた。友達同士からも認められたし、もちろん先生方や職員の方々からも認めていただいて、そういう安心できる場にいたからこそ、そんなに一生懸命勉強したわけじゃないんですけども、そういう土台がしっかりしていたからこそ、安心していろんな活動に参加できたのかなと思います。少人数だから、人数が増えたからということではなくて、やっぱり学校というのは子どもにとって安全で安心できる場であってほしいと思いますので、そういうことをハードの面でもソフトの面でもしっかりフォローしていただければなと思います。</p> <p>私自身もずっとここの出身で、生活圏が高円寺の南側です。学校のすぐ近くに家があって、生活の場と学びの場が非常に近いところがありました。いろんな考え方はあるとは思いますが、小学校のうちは自分の生活の場という</p>

	<p>か身の回りの場と学校という学ぶところの距離があるより、やっぱり近いところで身の回りのことを理解していきながら、だんだん世界が広がっていくのが自然なことじゃないかなと思います。同じ高円寺といっても、やっぱり地域差とか文化が違うと思います。そういったところをうまく取り込むといえますか。もちろん部活とかの活動でもいいですし、校外学習という形でもいいと思いますが、小学生の間は自分の生活する場と学びの場がなるべく近くにしてあげられたらいいなと思います。</p> <p>先ほども高円寺で育って、高円寺に戻ってくるという話がありましたけれども、郷土愛と言うとちょっと大げさかもしれませんが、地元愛も育っていければと思います。高円寺は阿波踊りがあるからとか、いろんな文化的なイベントもあるからとかいうことではなくて、自分たちが育ったまちだという気持ちは学校を舞台にして育んでいくものだと思うので、そういったところを大事にしていたらいいなと思います。</p>
委員	<p>今、皆さんのお話を聞かせていただいて、子どもたちのことをこれだけ考えてくださっている方がこの場に集まって、こういうふうにいるような情報を聞けるのはすごくありがたいと思いますし、そのような環境にいれる子どもたちはすごく幸せだなと思いました。</p> <p>私もいろいろ考えました。まず当たり前なのは、とにかく子どもが毎日楽しく学校に通えることが一番大切なことなのかなと思いました。朝起きて、早く支度して、もう学校に行きたいと思えるような学校がくれたらなと思っていました。今、杉八小も地域の方のご協力でいろいろな行事が成り立っていますので、地域の方とともに子どもたちを育てていくことは忘れてはいけない部分なのかなと思っております。地域の方、学校の先生方、保護者とともに子どもたちを育てていくというところを一番に置いて新しい学校をつくっていただけたらなと思っています。</p> <p>そして、地域の方が学校に足を運んでくださるスペースをつくれるような形にして、学校を中心に、この高円寺地域が盛り上がっていけるような学校でありたいなと思っています。子どもたちの感性を豊かに育てていけるのが一番いいなと思っておりますので、すべての子どもたちが輝けるような、そういうかわりを持ちたいですし、あとは学校にかかわってくださる方々の一人ひとりがみんな光って、名前も覚えて、顔がわかる学校が素敵だなと思いました。</p> <p>いろいろな行事や周年行事を通して、地域の皆様や卒業された皆様の力で学校が成り立っているというのがすごくよくわかりました。子どもたちも自分たちの育った学校、母校を大事に思って、そしてまた自分たちがいずれこの地域に戻ってきて、地域のために活躍したい、この次の新しい子たちのために今度何かしたいと思えるような、高円寺というものを基本に置いて、子どもたちの心を育てていける学校ができたらなと思っています。</p>
委員	<p>最初、このお話をいただいたときに、私は単純に杉四小のいいところと杉八小のいいところと高円寺中のいいところをすべて合わせれば、とてもいい学校ができるんじゃないかというすごく単純な考えを持っていました。改めて考えて、実際、子どもがまだ小学生なので、中学校に行っただろうというのはまだ自分の中でも具体的にはないんですけども、ただ、こんな子どもになってほしいなという望む気持ちがあります。まず、学校を卒業したときに、この学</p>

	<p>校を卒業してよかったなと感ずること、将来に希望を持って卒業していてもらいたいということです。</p> <p>そのためには、心も体も鍛えて、たくましく育ててほしい。あと、希望を持つということは、それまでに土台ができていないといけなないので、小学校、中学校のうちにあるような体験をしてもらえる、そういう学校をつくっていてもらえたらいいのかなと思っております。</p>
委員	<p>今まで皆さんのお話に出ましたけれども、私も実は本当にざっくりな感じで、余りぴんとはきていません。今、現役の保護者で、子どもが杉四小にいますが、毎日学校から帰ってきて話を聞くと、すごく学校が楽しいと。学校でこういうことをやってきたという話をすごく楽しそうにしてくれるんですね。去年から役員をやらせていただいて、学校の先生方ですとか、いろいろお話をさせていただく機会が増えまして、私自身、楽観的かもしれませんが、あまりそういうことに関しては心配していないというか、こういう先生方にお任せすれば大丈夫かなと、親として非常に安心感があります。</p> <p>その中でも、現役の保護者の方からお話が出ましたけれども、親としてこういう子になってほしいというのは、まず1つは、自分で考えて自分で行動できるということを養ってほしい。もう一つ、杉八小や杉四小の教育目標にありますけれども、「すすんで体をきたえる」とか、「たくましい」とか、そういう部分は間違いなくないといけなと思います。</p> <p>一つびっくりしたのは、私も杉四小でサッカーをやって、杉四小を出て、今また帰ってきて、杉四小の子どもたちのサッカーを見ていますが、サッカーが非常に上手な子が意外とボールが投げられなかったりします。ボールを投げる授業をやっていただいたりはしているんです。昔、僕らのときでしたら、人から習わなくてもボールなんか投げられましたし、とれましたし、みんなができた木登りですとか、そういうことが今の子どもたちは意外とできない。ですから、部活動でサッカーをやっているのも、僕らは遊びの延長でサッカーをやっていましたけれども、あくまで習い事なんですよ。ですから、練習のある日以外はやらないとか、そういう感覚の子が多いので、ぜひ皆さんのお話にありましたように、いろいろな運動の経験をさせていただきたいです。公園でボールを投げちゃいけないよとか、木に登っちゃいけないよとか、今はいろいろルールがありますけれども、そういうものができる場を親としてはつくっていただきたいと思っております。</p> <p>高円寺の地域特性を生かすというのはごくごく当たり前だと思います。私は地元の諸先輩方と一緒にさせていただいたり、飲んだりする機会が多いですけれども、そういう場がすごく勉強になって、「今、うちの子、こうなんですよ」なんて話をすると、「いや、そんなのはこうだから放っておけばいいんだよ」なんていうお話をいただいて、すごく安心します。まだ親になって10年も経っていませんから、皆さんに比べれば未熟な親だと思うんですけども、そういう子育てのベテランである地域の方々に親もサポートしていただいて、それがひいては子どもたちにすごくいい影響を与えると思うんですね。ですから、先ほどからお話に出てくる当たり前のことですが、地域との連携を密にとっていけるような学校を目指していけば、すごく子どもたちのためになると思っております。</p>

委員	<p>もう言葉が見つからなくなっておりますけれども、私は、基本的に学校は知育、徳育、体育、これができなければ学校じゃないと思っています。それは先生方のお力によるんですけれども、それがきちっとできていれば、子どもはよく育つんじゃないかと思います。</p> <p>あとは、最初に思ったのが安全・安心。それをまず約束してほしいと思いました。それは学校が約束することではなくて、地域みんなで見守るということなんです。その保障がないと、子どもは外へ出せませんから、安全・安心であることが重要です。遠くへ通う子がいっぱいいる杉八小の子どもを中心に考えておりましたのですが、本当に守っていきたい。</p> <p>まず、地域の大人が子どもを好きになってほしいです。本当にうちの町会の子どもはみんなかわいくてかわいくて、「どこに行くの？行ってらっしゃい。」帰ってきたら「お帰りなさい。」とか、そんな話をしているんですけれども、そういうふうにみんなで子どもをかわいがっていききたいなと思います。</p> <p>杉八小では、学校が本当にそれぞれの子どもの個性をよく生かしてくださったので、私たちもそのサポートは怠りなくやってきたように思います。新しい学校には精神的な面でも緊張しながら行くわけですから、そういう大人の心構えが必要で、学校が育ててくださる授業とか全部やってくださるけれども、そのほかの面で大人のやることがあるわけですよ。その子、その子によって違いますけれども、そこをみんなで探せていけたらいいなと思います。元気で健やかにになってほしいなと思います。</p>
委員	<p>皆さんに言い尽くされてしまって、なかなか意見がないんですけれども、やはり学校というのは勉強するところです。勉強が、好きな子もいるけれども、大部分はあまり好きじゃないと思うんですよね。その中で、公立学校としてまずやっていただきたいことは、小学校、中学校も基礎学力、基礎教育、これを徹底的に教え込むことだと思うんです。勉強が好きな子は自分でどんどん伸びていくし、大人になっても、基礎教育だけがきちっとできていればいつでも勉強はできると思いますから、十分に達成させてほしいということですね。</p> <p>小学校と中学校の小中一貫教育ですけれども、皆さんがおっしゃっているとおり、やはり一番必要なのは体力だと思います。これについては、町会でよく小学校1年生にお祝いの会をやるんですけれども、みんなと仲よくしまししょうというお話をするわけです。そこで、まず食事の問題です。高中はかなり強く食育の問題をやっております。食べなければ体力はできませんからね。そういうことも含めて、体力の向上、体をきちっとつくる。それと同時に、みんなで仲よく助け合える。相手の気持ちがわかるような心の人間になってほしい。そういうものをきちっとやってほしいと思います。</p> <p>先ほど学力のことで言いましたけれども、特に国語を徹底的にやってほしいです。今の若い子たち、お母さん、お父さんたちも非常に日本語が汚いです。ですから、まず美しい日本語ですね。こういうものを小さいときから教え込んでいただきたいと思います。</p> <p>あと、公立学校ですから難しいと思うんですけれども、私立では小学校1年生からフランス語をやっているところもあります。英語をやっているところもあります。どういう形であれ、まず日本語をきちっとやると同時に、英語なり、フランス語なりを、例えば土曜日授業とか、放課後とか、いろんな形があると</p>

	<p>思いますけれども、日本語以外の語学も特徴づける必要があるんじゃないかなと思います。</p> <p>魅力ある学校をつくるために、やはり皆さんがおっしゃっているとおり、地域の特性を十分生かす。それと同時に、杉四、杉八、高円寺中学校、それぞれの歴史がございます。その歴史を十分継続して、持続してやっていく必要がある。例えば、杉四においてはすばらしい和太鼓クラブもあります。杉八についてはお琴も大変進んでいます。それから、高円寺自体は阿波踊りというすばらしい伝統あるものがございます。そういうものも今度の新しい学校づくりの中に取り入れて、やめるのはいつでもできるんですけども、今までやってきたものを継続していく、持続していくことは必要なことではないかと思えます。</p> <p>ちょっと前後しますけれども、食育の問題です。杉四ではお米をつくっていますよね。稲をつくっている。そういった意味で、その辺の拡大を地域と同時にやって、先ほどどなたかが言っていましたけれども、都会と地方とのつながり、連携してお米ということも十分できるんじゃないかなと。そういう意味で、今までやってきたいところを伸ばしていきたい。それから、今、非常に力を入れている手話、これなんか新しい学校でやっていけたらいいんじゃないかなと思います。</p> <p>どっちにしても、魅力ある学校をつくらなければ、何のために新しくつくったかということが問題になりますので、今までの伝統を継続しながら、さらに充実してやっていけばいいんじゃないかなと思います。子どもたちが高円寺、杉並を離れても、またここに帰ってくる。外へ行ったときに、高円寺を離れたときに、「ああ、やはり高円寺はよかったな」と言えるような子どもたちに育てていきたい。今、地域の皆さんにいろいろご協力いただいている職場体験も、実際に地域と生徒たち、学校が協働して子どもたちの人間形成に役立てていると思えますので、こういうものを地域と一体となってやっていきたい。9年間ですけれども、杉四がやっている子小一貫教育、それと杉四、杉八、高中の小中一貫、9年間だけではなく、やはり11年間、子どもたちを大事に、継続的に育てて見ていくことが我々の責務じゃないかなと思います。</p> <p>私も杉四と高中の卒業生です。運悪く高円寺を離れたことがないんですが、75年間高円寺にずっと住まわせていただいています。やはりこれからの子どもたちの目線に合った立派な、すぐにはそこまでいかなくても、子どもたちの目線に合ったいい学校をつくっていければいいんじゃないかなと思います。</p>
委員	<p>私の目指す学校像は、大きく絞ると4つの観点があります。</p> <p>1つ目は、もう皆さんが言っていたことそのものなんですけど、とにかく子どもが生き生きと毎日楽しく通える学校、これは基本だと思います。その中で、体力、学力、心の面も育てていかななくてはいけないなと思っています。中学を卒業すると義務教育は終わり、ほとんどの生徒が高校に上がりますけれども、もう社会人になるということも考えていかななくてはけません。ですから、義務教育の中学校3年生を卒業したときに、きちんと自己肯定感を持って、自分のことが大好きで、これからの社会で生きていく。いろんな荒波があっても乗り越えていけるだけの生きていく力が備わっていかないとダメな、中学を卒業する段階でそれをつけていかななくてはいけないなと思います。</p> <p>2点目は、どの保護者も安心して、この学校にうちの子を通わせてよかった</p>

	<p>と思える学校をつくっていただけたいなと思っています。学校にいるから安全だ、安心だ、きちんと力をつけてもらっている、そんなふうに思える学校です。</p> <p>3つ目は、高円寺というかなりカラーのはっきりした地域で、その地域の方たちが、この学校は私たちのまちの学校だ、おらがまちの学校だと誇りに思える学校、そんな学校がくれたらいいなと思います。</p> <p>4点目は、これは本当に学校の中のことなんですけれども、先生たち、先生以外の職員もいますが、どの職員も本当に大変なんです。本当につぶれそうになってしまう気持ちのときもあるんです。でも、それを乗り越えて、どの職員も気持ちよく、自分の仕事に誇りを持って、やりがいを持って学校をつくってほしいという気持ちで働ける職場、そんな職場がくれたら理想的だなと思いました。</p> <p>かいつまんでなのですが、大きくこの4点、私はこういう学校ができたらいいいなと思っていますところです。</p>
委員	<p>私は高円寺に来て2年少し経ちました。最初に感じたのが、やはり地域の力がすごく大きいところです。学校経営をしていく上で経営方針を出していくわけなんですけれども、私は高円寺に来たときにまず考えたのが、引きつける魅力のある学校をつくらうというキャッチフレーズにしました。引きつける魅力のある学校とはどういう学校かという、職員がこの職場で働きたいなという学校、そして、子どもたちは明日登校したいと思う学校、最後に、地域の方が学校に行きたいと感じる学校、こういう魅力のある学校、すなわち引きつけるというところが私はキーであると思います。高円寺にはその引きつけるという大きな地域の力があると私は2年前に感じました。</p> <p>現在、杉四、高中は中学校と小学校で一緒の学校支援本部をつくっています。杉並区内で中学校と小学校で学校支援本部をつくっているところはそうないです。中学校と小学校で地域の方がともに学校支援をしてほしいという姿勢を持っている高円寺地域の方々は、さすがだなと思っていますし、そのさすがだなという気持ち以上に、現に今、地域の方が小学校も中学校も応援してくれているという現状があります。まさに杉並の教育ビジョン 2012の「共に」という部分で、地域が大きく生きています。まさに地域と一緒に学んでいく、地域と生きる。そして、学校教育目標としては、地域を担っていくんだという意識を持つ子どもを育てる、そして地域を誇れる子どもを育てていく、まさにそういう部分にかかわってくるような学校ができていくといいなと思っています。</p> <p>最後に、私はこの4月から高円寺北子供の園長も兼任しております。今日も午前中は、誕生日会をしていたんですけれども、子供園の子どもたちと小学校の子小連携をやっているのは非常に大きなメリットと私は感じています。新しい学校に移行していく中で、委員の皆様からもかなりお話がありましたけれども、9年間の教育という部分プラス2年間を加えた11年間教育、これはやはり外せない部分なのかなと私は感じます。どんな形でそれが実現していくのか、継続していくのかということはまだ見えませんが、新しい学校を目指す中で、義務教育だけでなく、就学前教育も杉並区は非常に重要視しております。就学前の部分も十分地域で担えるような新しい学校を目指す。そういう学校をぜひつくっていきなと思っています。</p>

副会長	<p>自分でもビジョンは持っているつもりでしたが、今日ここに集まった皆様のお話を聞いて、より明確になりました。というのも、この新しい学校は地域運営学校ということでコミュニティスクール、保護者や地域の方が、学校運営に参画していく。もしこの会がそのコミュニティスクールの会であったとしたら、とても素晴らしい学校になっていくかなと実感しています。できることとできないことは多分あると思いますが、できることから少しずつコンセンサスをとって新しい学校をつくれるといいなと考えています。あと5年後に開校です。あまり遠い先ではないなと考えて、この懇談会においても皆さんの考えを集約していけるといいなと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございます。それでは、最後に私がもう少しだけお話しさせていただければと思います。</p> <p>ずっと中学校の教員をやっておりますが、目指しているのは1個しかありません。とにかく卒業させたら自立させる、一人前の社会人にする、それだけを考えてずっと子どもたちを育ててきました。昔はそこで就職する子も結構いたので、中学を出たら一人前の大人だよというふうにしていこうとずっと思ってきて、それは今でも変わりません。</p> <p>ここ10年ぐらいのところで小中一貫教育がいろいろ話題になってきて、やっぱり9年間継続して育てていくのはいいんじゃないかなと思いました。いろんな学校の先生方とどういう9年間がいいんだろう、どんな小中一貫教育がいいんだろうと話をしてきました。その頃は三鷹や品川で開校したので、そこに出かけていっているいろんな先生方と、実際にこんなふうにしていますよというのを聞いたり、学校の中に地域が入っているようなところもあったし、これはすごくおもしろいなと思って、どんな形でかわっていけるかなというのを自分自身のテーマにしてここ数年きたかなという気がしています。</p> <p>今日すごくおもしろかったのは、今までそういう考えはいつでも教員同士でやっていたんですね。そうすると、やっぱり教育課程とか、年間指導計画とか、評価はどうするという話に主になってしまいましたが、ここでの話は違うんですね。このまちにどんな学校があればいいんだろうという視点で話が始まっているのを伺って、今日は本当に目からうろこという感じで、長い時間でしたが、あつという間に過ぎたなという感じがしています。</p> <p>きっと学校をつくるというのは、こういうことがスタートじゃなきゃいけないとすごく思いました。今までどういう施設にしようか、どんな教育目標にしようか、ここから入るんですけども、こういうふうに考えるのではなくて、このまちの子たち、高円寺の子たちをどうやったら一人前にさせられるか。それで、またこの町に帰ってくる子にできるかという視点で、このメンバーと一緒にこの後考えていけるのはすごくうれしいなと思いながら皆さんの話を聞かせていただきました。</p> <p>究極的な目標は依然として私は変わりません。卒業したら一人前になる、一人前にさせる、そういう学校をつくる。そのためにどんな学校のグラウンドデザインになるのか。この「デザイン」というのは私はすごく好きな言葉ですけども、それをぜひこのまちの人たちと一緒に考えていながら、ああでもない、こうでもないと言いながら、いつでも子どものことを考えていきたいなと感じました。ぜひみんなで力を合わせて新しい学校づくりに取り組んでいけ</p>

	<p>ればなと感じました。ありがとうございました。</p> <p>それでは、さらにここで何か追加をしたいとおっしゃる方がございましたら、よろしいでしょうか。</p> <p>(追加意見なし)</p> <p>では、今日皆様から頂戴したご意見につきましては、事務局のほうで集約していただきまして、次の懇談会にはお示しできるように準備をしていきたいなと思っております。</p> <p>それでは、先に行きたいと思います。次第の4番目でございますが、「部会設置事例について」ということです。前回の懇談会で部会設置についてのご質問がありました。改めまして、これまでの天沼小学校、永福小学校、これからできる杉並和泉学園の設置状況等、参考になるとと思いますので、恐れ入りますが、事務局からご説明をお願いいただけますでしょうか。</p>
<p>新しい学校づくり係長</p>	<p>それでは、次第の4「部会設置事例について」説明をさせていただきます。資料3をご覧くださいと思います。</p> <p>ただいま会長からもお話がございましたけれども、この高円寺地域の懇談会の今後の検討の参考としていただくために、これまでの区内統合校の開校に向けた協議会で設置した部会についてまとめた資料となっております。</p> <p>まず、1番の天沼小学校、平成20年4月に開校した区内最初の統合校になるわけですが、全21回の協議会のうち9回が建設検討部会として、こちらの「内容」という欄に記載されているとおり、新校舎の基本設計のもととなる基本計画案について検討を行ったものです。</p> <p>この統合新校の建設検討部会は、協議会の設置要綱に建設検討部会を設置する旨を最初に規定しております。部会委員は、協議会の全委員に学識経験者4名を含む8名の方を加えた形の組織でした。本日、資料2の4番に「天沼小学校の例」ということで、新校舎建設の基本方針を記載しております。こちらの内容がこの建設検討部会のほうで出された意見を集約して、新校舎の基本設計の基本となる方針をつくり上げたということになります。</p> <p>期間としては平成18年6月に第1回が開催されて、8月の3回目からは設計業者が出席するようになりました。新校舎の基本方針をまとめた内容をもとに、設計業者から複数の配置計画案が示され、意見交換などを行い、平成19年3月の段階ではほぼ基本設計となるものを作成して役割を終えたという内容になっています。</p> <p>次に、永福小学校です。昨年4月に開校したわけですが、協議会には、2つの部会を設置しました。まず、通学路の検討部会ですが、協議会において通学路の検討に当たっては地域の実情がわかっている方による検討がよろしいだろうということで、PTA選出の協議会委員、両校のPTAの地区委員、生活指導主任や学童クラブ担当者などで部会を設置しました。</p> <p>全3回中、1回目は事務局から通学路の案を提示しまして、意見集約を行いました。2回目は警察署員も参加しまして、通学路の候補になるルートの実地踏査をしました。その実施踏査を踏まえて、3回目には新たな通学ルート候補をまとめて、さらに課題整理も行いました。その後、部会でまとめた内容を協議会に報告しております。全部で通学路7ルートを提案して終了しております。</p> <p>次に、コミュニケーションマーク制作部会ですが、通学路の検討について部</p>

	<p>会方式を採用してスムーズに進んだこともあって、事務局から部会を設置して検討したほうがよいのではないかと提案を差し上げたものです。こちらは、永福小、永福南小の2校の統合でございますが、校章は旧永福小学校の校章を引き続き使用することとなりました。ただ、やはり新たな統合校の証としてコミュニケーションマークが必要だろうということで制作することになりまして、PTA選出の協議会委員、両校副校長、図工の教諭というメンバーで部会を設置しました。</p> <p>部会では、図案の応募用紙を作成しまして、永福小と永福南小の全児童に応募用紙を配付しました。120点の応募作品がございまして、そこから最終的に部会で3点に絞り込みを行いました。優先順位をつけた形で協議会に報告をし、結果、協議会でも優先順位が1番の図案が選ばれて、そのマークが新校のコミュニケーションマークになっております。</p> <p>資料裏面に行きまして、(仮称)杉並和泉学園の事例になります。まず、校庭部会ですけれども、和泉小学校が平成14年3月に校庭全面の芝生化を行いまして、それ以降、教職員、PTA、地域、あと校庭利用団体で組織する和泉ガーデンプロジェクトという団体が和泉小学校の子どもと一緒に芝生を育てていくということで、メンテナンスなどを中心に精力的に現在も活動しております。新校にも児童の外遊びの機会であったり、環境教育に資する和泉小の校庭芝生化のメリットを継承したいということで、芝生の範囲なども含めまして、中学校の部活動なども考えながら、校庭配置案について部会で検討されました。参考にお配りしております杉並和泉学園のパンフレットに外観パースが載っていますが、部会での検討内容が活かされております。</p> <p>他に標準服検討部会ということで、新校の小学部に標準服を導入すべきか検討するため設置されました。小中の全保護者と近隣の幼稚園や保育園の保護者にアンケートをとり、6割以上が標準服はなくてもいいという結果になったものですから、最終的には標準服は導入しないという結論に至っています。</p> <p>あとは、現在も継続中なんですけれども、地域資料検討部会ということで、それぞれの学校の歴史だとか伝統に係る資料などをどのようにして残していくか、どういうふうに活用していくかということで検討がされております。できるだけ展示物でスペースを多くとらないほうがいいだろうという意見もあって、現在は写真だったり、動画だったり、映像として記録化しまして、児童や生徒が地域資料として活用できるようなシステムができないかと検討がされております。</p> <p>もう一つが学園章検討部会で、学園章として小中一貫教育校で一本化するために検討を行っているものです。校章のイメージを児童・生徒にアンケートをとりまして、出されたイメージを参考にデザイン案が作成されて、部会に提示されて、さらに検討が進んでいく予定です。</p> <p>今後、高円寺の懇談会におきましても、やはり意見交換を行って進めるわけですけれども、検討テーマによっては、少人数で部会を設置して検討したほうがよいという内容もあろうかと思っておりますので、今後の参考にしていただければということでご説明させていただきました。私からの説明は以上になります。</p>
<p>会長</p>	<p>今までの部会についてのご説明でしたが、ご質問はございますか。 (質疑なし)</p>

	<p>では、今もございましたように、今後、必要に応じてこの懇談会でも部会については検討していくというところで先に行きたいと思います。</p> <p>今もちょっと話がございましたが、次の議題が杉並和泉学園についてということになります。次回は、義務教育9年間を通した一貫性のある学校として、どんなところに魅力があるのか、またはどこが不安、課題、施設面も考えていくところになるかと思うんですけども、27年度、次の年に開校する杉並和泉学園が大きな先行事例として活用されるんじゃないかなと思いますので、その概要について再び事務局からお話しただけですでしょうか。</p>
<p>新しい学校づくり係長</p>	<p>参考にお配りしておりますパンフレットをご覧くださいと思います。まず、表紙をめくっていただきますと、外観パースとか、施設の特徴的なところを見開きで紹介しております。こちらのパンフレットの内容は、昨年の6月に3校が中心となって作成したものでございます。</p> <p>2階の平面図が掲載されていますけれども、小学校棟にはラーニングセンターがあります。こちらが小中の図書館、パソコンルーム、あと先ほど地域資料の活用の話がありましたけれども、地域資料コーナーが1つになっていて、児童・生徒が自ら能動的に学ぶ拠点になっていくこととなります。中学校棟から小学校棟につながるすぐの場所に位置していて、小中一貫教育校の中心に位置しているという特徴になっています。</p> <p>ラーニングセンターの前にはランチスペースが設けられ、完成予想のイメージ図が掲載されていますので、こんな雰囲気になるのではないかと考えているところです。</p> <p>次に、現在、新泉小学校に特別支援学級がございまして、それは引き継ぎますが、さらに新たに中学校にも特別支援学級が設置されて、小中が連携して特別支援教育を行っていくことになっております。</p> <p>校庭の芝生は、現在の和泉小学校校舎がある北側に配置されまして、和泉小にある現在の芝生面積より若干増える予定になっております。</p> <p>小学校棟の1階には学童クラブや、小学校、中学校の先生方が全員入る職員室が配置されます。</p> <p>外観パースでもわかるとおり、充実した運動施設として、小中の校舎にそれぞれ体育館がございまして、あとそれぞれの棟の屋上にプールと屋上運動広場が作られる予定になっています。</p> <p>あと、武道場が3階に配置されまして、必修化された武道の授業を専門ででき、あと多目的室としても使用できる機能でつくられているところです。</p> <p>ページをめくっていただきますと、杉並和泉学園の学習指導、9年間を見据えた小中一貫教育の事例とか、施設一体型小中一貫教育校の特別支援教育について紹介されております。</p> <p>次のページは27年4月開校後の学校生活だったり、工事期間中の学校生活について気になる内容をQ&A方式で解説をしている内容になります。</p> <p>本日、各委員からどんな学校をつくりたいかという貴重なご意見をいただきましたので、次の会ではその意見を集約した資料をお出ししたいと思っております。次回以降、さらに議論を進めていきたいと思っておりますので、ぜひこの杉並和泉学園の内容をお目通しいただきまして、ひとつ参考にしていただければということでご紹介させていただきました。以上になります。</p>

会長	<p>ありがとうございます。パンフレットをもとにご説明いただきましたが、何かこの場で聞いておきたいことがございましたらお願いいたします。</p> <p>特によろしいですか。</p>
委員	<p>今度できる校地の面積と今ご紹介していただいた杉並和泉学園の面積ってかなり違うんですか。それとも似たような感じですか。イメージがすばらしいものですから。</p>
学校教育担当部長	<p>ただ、面積だけじゃないんですね。容積率が随分違うものですから、それらも比較しないと、本当のところはわからないところがあるんです。平面だけを見ると、和泉のほうが広いです。小中で1つですから。高円寺は高円寺中分だけですから。ただ、容積率が随分違います。</p>
新しい学校づくり係長	<p>和泉の小中一貫教育校の敷地ですが、和泉小と和泉中の敷地を合わせまして18,000余平米あります。現在の高円寺中の敷地面積が11,294平米になりますので、やはり和泉は2校分の敷地を合わせているということで広いということになります。</p>
委員	<p>ちなみに、ここは用途地域は住居系の地域になりますか。容積率というのはそういうのに影響してくるのかなと思いますが。</p>
学校支援課長	<p>たぶん第一種低層が多いと思います。ただ、水道道路が近いですから、その分はもうちょっと容積率があるかもしれませんけれども、環七ほどの建ぺい容積はないと思います。</p>
委員	<p>ないですよ。高円寺はかなり容積率は建てられますよね。わかりました。ありがとうございました。</p>
会長	<p>ほかにはいかがですか。よろしいでしょうか。</p> <p>(質疑なし)</p> <p>それでは、開校しましたら、みんなで見に行ければなと思っております。</p> <p>では、次回さらにこの続きの議論をしていきたいと思いますが、その次の第4回目、そこでは先行事例の他区の例を視察に行ったらどうかと提案がありますが、事務局からお願いできますでしょうか。</p>
新しい学校づくり係長	<p>事務連絡になりますけれども、まず、3月に行いました第1回目の懇談会の会議録の要旨につきまして委員の皆様にご確認いただいたと思いますが、明日教育委員会のホームページにアップさせていただく予定になっております。</p> <p>あと、これまで統合の協議会を進めていく中でも、機会を捉えて協議会ニュースという形で広く今の取り組み状況などをお知らせしていましたが、高円寺地域も今日で2回が終了するということもございまして、6月にはニュースの創刊号を発行したいと考えております。</p> <p>次に、次回、3回目の懇談会は6月下旬に開催できればと考えております。この後、会長から日程調整についてのお話がございます。またその次の4回目の懇談会は7月に他区の小中一貫教育校の視察を考えております。</p> <p>ただいま資料をお手元に配付させていただいたところですが、平成24年6月に高円寺地域の計画策定準備会でも開校したばかりの渋谷区立渋谷本町学園に視察に行っています。開校して2年が経過しているところを踏まえまして、現時点での課題とか教育活動に関する工夫、成果なども含めて、少しまた違うお話が聞けるのではないかとということでは、そちらが有効ではない</p>

	<p>かと考えて、視察先として提案をさせていただくものです。もしそちらでよろしいということであれば、視察の時間は参考資料の下段にございますとおり、小中の時定が載っていますが、昼休みが始まる 13 時から 15 時までの 2 時間ぐらいで予定できないかと考えております。</p> <p>それでは、会長のほうで 6 月の懇談会の日時と視察先、視察日の日程調整をお願いできればと思います。よろしく申し上げます。</p>
会長	<p>では、既にこの会の前身で渋谷本町学園のほうに行かれているということですが、何年か経ったところでの話もおもしろいんじゃないかなと思います。視察先について特にご異議がなければ今ご提案のあったところでよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>ありがとうございます。では、渋谷の学校のほうに今度また出かけるということで、最後にスケジュールの調整をしたいと思います。</p> <p>(日程調整)</p> <p>ありがとうございます。では、次回の第 3 回目については、仮に 6 月 26 日とさせていただいて、調整してまた皆様方にお知らせしたいと思います。</p> <p>第 4 回目は視察です。7 月 15 日を開催予定としますが、場所等の詳しい連絡がまたあるかと思えます。</p> <p>では、今日につきましては一応予定していた中身は終わったのですが、長い時間になってしまいまして大変申し訳ありませんでした。委員の皆様から何かございますか。</p>
委員	<p>今日は懇談ということで、皆さんの意見がバーツと出て、集約されて、この新しい学校像についても定めていくかと思うんですけども、懇談というのであれば、もう少し委員同士でも投げかけをしたいなと思います。ただ、これでは非常に難しいと思うので、できたら何かテーマを集約した中でつくっていただいて、少し小テーブルでお互いの委員同士が懇談できるような場をつくっていただけたらどうかと思います。委員の皆さんのお考えはいかがでしょうか。</p>
会長	<p>ということでございますが、今日はちょっと皆様方からお一人お一人お話を伺って、すごく長くなってしまって申し訳ありませんでした。</p>
委員	<p>この場でやると非常に難しいと思うんですね。お話を聞いていて、いいなと思うこと、聞きたいなと思うことが出てくると思うので、これは公式な懇談という場であれば、小さなテーブルでいろんなテーマで出たものを上げるという形のほうでいろんな懇談ができているという認識になるんですけども。</p>
学校支援課長	<p>前向きに検討させていただいて、今、おっしゃったのは 6 人ずつぐらいのグループでそれぞれ検討してみるとか、そんな感じですね。そういったことも大事だと思いますので、やっていきたいなと思います。</p>
会長	<p>ほかに委員の皆様方から何かございますでしょうか。</p>
委員	<p>きょういろんな角度から、いろんな点が指摘されたところで、これから整理されると思います。出てきたテーマを主な 3 つぐらい、なるべく少な目のほうがいいんですけども、それを各テーブルで 1 時間とか、1 時間 15 分とかの時間の中、例えば 3 つのテーマをこなしますよね。そのときに、それぞれの学校教員の立場とか、PTA の立場とかをまぜこぜにした形で、例えば 4 グルー</p>

	<p>プができたら、後ほど各グループの報告を出す。その中には、違う視点が挙がってくるかもしれませんが、それこそ目のつけどころになるかもしれません。ですから、今回の集約が恐らく今の委員の指摘を可能にするやり方かなと。1点だけに絞られてしまうのは分科会みたいになってしまうので、そういうテーブルだとつきたくないと思います。</p>
学校支援課長	<p>それはまた事務局でいろいろと考えてみて、皆さんの検討しやすい方法を考えてまいりますので、よろしく願いいたします。</p>
会長	<p>よろしく願いいたします。 ほかにございませんでしょうか。 （意見なし） それでは、今日は本当に貴重な時間を、それから皆様方の貴重なお話を伺えて、すごくうれしい気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。</p>